

生産革新 プロフェッショナルコース

社内コンサルタント・IEインストラクターの早期養成を実現する



2016年度 会 期

2016年10月11日(火) ➡ 開 始

2016年12月13日(火) ➡ IE士認定試験・修了

3ヶ月 全10日間

会 場

日本能率協会 研修室(東京・千代田区・一ツ橋)

対 象

- 生産技術部門のマネジャー、リーダー
- 社内「ものづくり」革新活動に携わる方
- 改善技術のインストラクター
- 工場設計のプロジェクトマネジャー
- 生産管理部門・製造部門のマネジャー、リーダー

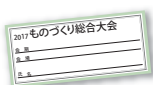
講 師

(株)日本能率協会コンサルティング コンサルタント陣

参加特典

■ 特典①: 2017ものづくり総合大会へご招待

本コースへ申込み頂いた方には2017年2月に開催される
2017ものづくり総合大会へ無償でご招待いたします。



■ 特典②: 「IEインストラクターマニュアル」をプレゼント

コースでは国内工場や海外工場でIEを指導していくための指導スキルを身に着けるべく、自身を指導者と想定して本マニュアルを用いて模擬講義を実施いたします。
(第5単位にて実施)

●社内指導に役立つ教材



IEインストラクターマニュアル



各単位テキスト

生産現場に本当に必要なものは？

ドイツのIndustrie 4.0やアメリカのIoTなど、ICTを活用したものづくり革新に関する話題が日々新聞や雑誌等のメディアを賑わしております。これら最新テクノロジーの導入や新しいビジネス領域への挑戦は企業の経営課題のひとつとなっております。しかし、経営課題の解決を生産現場で実現していくのは決して容易ではありません。いざ、導入するとしても**生産の現場力がなければ実現できない**のではないのでしょうか。

IEを取巻く環境の変化とは？

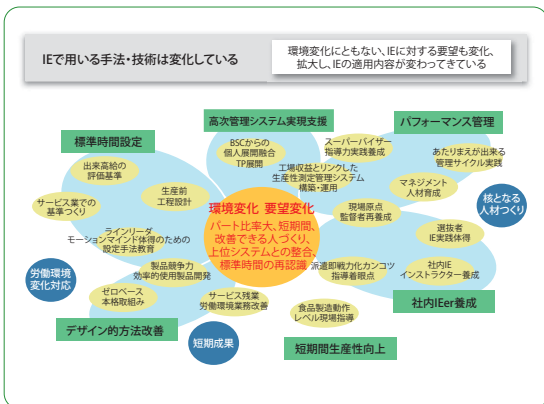
今、生産現場に求められる人材は、グローバルベースでのものづくり現場力を伝播・伝承させることのできる社内プロフェッショナルであり、その人材の計画的な育成が急務です。

市場は急激に変化しています。しかしながら、日本の製造現場では量産工場の海外への分散移転、雇用形態の多様化、ベテランの退職、技術技能伝承が十分に行われないなど、過去からの影響により製造現場力は低下し、ものづくり全体を見渡した改革・改善を遂行する力が衰退しています。また、上記のように経営課題として、最新テクノロジーの導入や新しいビジネス領域への挑戦を生産現場に求められることもあります。管理職も職務に縛られすぎて、生産現場に求められている技術を伝える機会が限られています。

そのようなお悩みはあなたの会社ではないでしょうか。

技術伝承ができていない(教えてもらった)との自負があっても「何故こうしなければいけないのか?」ということをつかずにまわっている人は少なくありません。

様々な課題を解決していくためには体系的に現場に求められる技術・知識を学ぶ必要があります。**生産革新プロフェッショナルコースではものづくり革新に必要な技術・知識を戦略～改善手法にいたるまで広範囲にわたって学ぶ事ができます。**



生産革新プロフェッショナルコースの重点

重点①

・IEに必要なスキルを講義、演習、グループワークを通じて**全10日間(10単位)で体得**します。

重点②

・講義では、生産・製造の知識にとどまらず、「開発・設計」、「調達」、「物流」、「マネジメント技術」についての**理解も**目指します。

重点③

・将来、国内工場や海外工場**でIEを指導していくための指導スキル**を演習にて鍛錬します。

重点④

・コースを通じて生産・製造に携わる他社参加メンバーと交流して**ものづくりにおける、知見を広げ**ることができます。



テーマ1 生産改革実現のためのマネジメント技術・リーダーシップ

第1単位 2016年10月11日(火) 10:00～17:00

※17:00～18:30 懇親会
担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 角田 賢司

講義

ものづくり改革のためのマネジメント技術

- ・経営課題とものづくり改革
- ・ものづくり改革の重点課題
- ・ものづくり改革の目標設定と目標管理

POINT

- 目標管理の技術を中心に、目標設定、施策選定、実行計画、実績管理について、ミドルマネージャーの役割と進め方を学ぶ。

演習

STEP1 課題認識

- ・事前レクチャー ①演習解説 ②インタビューテクニック
- ・演習 ①現場理解、問題点抽出 ②インタビュー整理 ③資料からの問題点抽出 ④まとめ
- ・グループ発表

POINT

- インタビュー、資料などから工場課題の整理の仕方を学ぶ。
- 改善案立案までのストーリーを理解する。

テーマ2 ものづくり力強化による競争優位の実現

第2単位 2016年10月12日(水) 10:00～17:00

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 加賀美 行彦

講義

顧客要求と経営効率を向上させる製品供給力の強化 (SCM)

- ・SCM改革の必要性
- ・在庫削減の基本的な考え方
- ・SCM改革成功のポイント

調達コストダウン

- ・モノ/作りによる調達のコモーション
- ・競争購買の仕組み
- ・戦略的製内製化/外製化編成の考え方
- ・査定購買と調達先強化

POINT

- 極限コストを追求するための購買技術(サプライヤーの評価、価格査定などの技術)の学習。SCMにおける工場の役割と技術の学習。

講義

構内物流改革、材料歩留まり改革のアプローチ

- ・構内物流改革の2つのアプローチ
- ・材料歩留まり向上
- ～歩留まりの構造と改善ステップ～
- ・工場間移送
- ・倉庫管理と現品管理
- ・出荷業務設計
- ・製造経費低減
- ～コスト発生構造と改善手法～

POINT

- 極限コストを追求するための構内物流の効率化を、材料供給、仕掛品搬送、製品搬送について学ぶ。
- 歩留まり向上、経費低減については、そのポイントに触れる。

演習

STEP2 仮説設定

- ・事前レクチャー ①作業時間の構成と改善手段の関係 ②目的別分析手法のおさらい
- ・演習 (VTR) ①作業理解 ②ワークユニット設定 ③観測結果の考察、仮説づくり
- ④詳細分析の企画立案
- ・グループ発表

POINT

- 課題認識をもとにワークサンプリングで職場の特性を捉え、改善方向の仮説を設定する。
- 目的を明確にしたワークサンプリングの応用の仕方、結果の捉え方を学ぶ。

講義

人と設備を対象とした生産システム改革と人材活用

- ・生産性向上とコストの関係
- ・生産量の変化と生産性向上の関係
- ・職場の特性と生産性の構造
- ・生産性向上のレベルと対象
- ・生産性向上のための生産システム
- ・生産システム決定の判断要素
- ・設備に着目する生産性
- ・情報システムと生産システム
- ・賃金と雇用形態
- ・派遣活用の手順
- ・スキル伝承の仕組みづくり

POINT

- 極限コストを追求するための生産性向上について、生産システムの選択方法や作業員(派遣含む)のスキル伝承などについて学習する。

テーマ3 製造現場を変革する改革・改善技術(1)

第5単位 2016年11月7日(月) 10:00～18:00

※18:00～19:00 グループ自主演習
担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 伊庭 栄

講義

IE基礎テクニック教育のポイント

- ・IE概論
- ・IE基礎テクニックの教え方
- ・教材開発の進め方

POINT

- IEの各置分析手法を改善インストラクターとして、どのように教えていくかをレクチャーする。

テーマ4 生産革新を実現するための視野拡大

第6単位 2016年11月8日(火) 10:00~17:00

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 石田 秀夫

講義

ビジネスモデルに基づくQCD目標の設定

- ・勝ち続ける企業のポイント(差別化)
- ・勝ち続ける企業の目標設定(企業事例)

マネできないものづくり戦略の考え方

- ・これまでのものづくりの問題
- ・なぜ技術で卓越して、儲けに繋がりにくいのか?
- ・マネできないものづくり戦略の考え方

開発・生産融合の超垂直立上げ技術

～オンライン・ワン商品の迅速な市場投入のために～

- ・短サイクルで新商品を立ち上げるには
- ・量産化技術開発の課題と対策
- ・生産準備・立ち上げ段階での課題と対策
- ・量産立上げ段階での品質安定化策

POINT

- ビジネスの強みをどこで発揮するかを助案したQCD目標の設定方法の学習。
- 短サイクルで新商品を立ち上げるための工場の創制と技術の学習。
- 高品質実現の技術と現場マネジメント方法の学習。

テーマ5 製造現場を変革する改革・改善技術(2)

第7単位 2016年11月28日(月) 10:00~17:00

※17:00~19:00 グループ自主演習

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 伊庭 栄

講義

分析検証

- ・標準時間の正しい理解(ディスカッション付き)

演習

STEP3 分析検証

- ・ライン作業の生産性向上
- ① 作業理解
- ② 作業分析(タイムスタディ)
- ③ ライン分析
- ④ 個別作業改善案抽出・評価・選択

POINT

- タイムスタディをもとに、分析結果を検証する。
- 改善対象として方法面と実施効率面があることを理解する。
- 標準時間を正しく認識し、特徴にあわせて測定手法や用途を理解する。

第8単位 2016年11月29日(火) 10:00~17:00

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 伊庭 栄

講義

改善立案

- ・効果的なプレゼンテーションとは

演習

STEP4 改善立案

- ・生産方式改革プランの作成
- ① 生産方式代案の検討(作業手順、レイアウト、作業時間など)
- ② 生産方式代案のコスト比較(イニシャルコスト、ランニングコストなど)
- ③ 生産方式の選択
- ④ 選択生産方式実施に向けた課題

POINT

- 分析結果から生産方式の選択や考え方を理解する。
- 改革に向けてのアプローチ方法を様々な角度から理解する。

第9単位 2016年12月12日(月) 10:00~17:00

※17:00~19:00 グループ自主演習

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 伊庭 栄・角田 賢司

演習

STEP5 提案書作成

- ・提案書とは
- ・提案書作成時のポイント
- ・プレゼンテーション実施時のポイント

個人面談

講師が参加者と個別面談を行い、参加者ひとりひとりの個別課題へのアドバイスをを行います。



POINT

- 説得力のある提案書類作成のノウハウを体得する。
- 他社メンバーとの真剣な討議により、改革の総合シナリオを作成する。

テーマ6 ものづくり現場力改革・改善演習の発表と認定試験

第10単位 2016年12月13日(火) 10:00~17:00

※17:00~19:00 グループ自主演習

担当講師/関日本能率協会コンサルティングシニア・コンサルタント 伊庭 栄・角田 賢司

演習

STEP6 改善案の提案

- ・改善案のプレゼンテーション
- ・各グループの改善案をもとに全体討議と講評

IE士認定試験

- ・合格 → IE士認定証授与
- ・本コース修了者は、生産革新プロフェッショナル(IE士)として認定され、小会よりIE認定証が授与されます。(全日本能率連盟資格登録第25号)

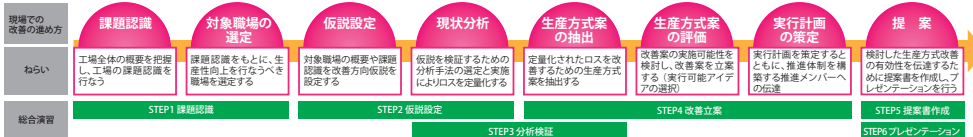
POINT

- ドキュメント作成力⇒プレゼンテーション⇒論理的説明力⇒質疑への説明力を身につける。

演習の概要

- 総合演習 ケーススタディを用いて、生産改善に必要な演習をチームにて行います。(第1,3,7,8,9,10単位)

■ 演習フローチャート



● インストラクタースキル演習(第5単位)

IE基礎テクニックにおける指導のポイントを模擬講義を実施して体得します。

● 社内指導に役立つ教材



修了者インタビュー

生産革新プロフェッショナルコース受講で得られた成果について教えてください。

全10日間の講義ということで、様々な手法や、考え方、実例や模擬の練習など、本当に丁寧に教えていただいたと思っています。

当然、受けた講義の内容も役に立っているのですが、やはり自分の中で心に残っているのは、様々な業種の方とか、同業系の方などと一緒に講義を受けて、チームを組んで演習に取り組み、そこでいろいろな話ができたとです。

目的が同じような方が集まるので、とてもいい雰囲気です。受講できました。



2014年度修了者
金田 孝雄氏

日本信号株式会社
ものづくり本部 宇都宮事業所 生産部 製造G

↓ インタビューの続きはこちらから!! ↓

URL:http://jma-iepro.com/category/nippon_signal

2015年度 受講者の声

- 「IEの基礎から改善提案まで**非常に幅広く知見を広げることができた。**」
- 「マネジメント技術をはじめ、経営直結型IEを意識した演習であったため**自身を高めることができた。**」
- 「講義による知識習得に始まり、得た知識をすぐに演習で使うことができたので**理解が深まった。**」
- 「これまでの自社の改善活動を振り返り、**知識を整理をすることができた。**」

生産革新プロフェッショナルコース公式サイトのご案内

修了者・講師の方々のインタビューやプログラムの詳細など、コンテンツを数多く取り揃えております。本案内のURLもしくはQRコードからご覧ください。



HPアドレス・QRコードはこちらから!

URL <http://jma-iepro.com>



HPコンテンツ

修了者・講師インタビュー



コース参加特典
のご案内



プログラムの詳細



IEに関する催しやセミナー
のご案内



参加申込規定

※参加料 (税込) ※本事業開催最終日の消費税を適用させていただきます。	早期申込割引 (2016年7月29日(金)まで)	通常受講料
日本能率協会法人会員	470,000円/1名	510,000円/1名
上記会員外	530,000円/1名	560,000円/1名

(注)テキスト・昼食費は含まれております。
 ・法人会員ごとの有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>

参加申込方法

- ①申込書に必要な事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページからお申込みください。
 開催期間のお申込みは、ご参加いただけない場合もございます。あらかじめ電話でご確認ください。
- ②電話ではご予約のみの承りとなります。その場合でも申込書は必ずお送りください。
- ③参加証・請求書は開催1か月前から発送を開始いたします。なお、1か月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を送いたします。
- ④参加料は請求書に記載されておりますが、「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までににお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。なお、支払い期限が過ぎてもお振込みの場合は、請求書の入金連絡票にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。(振込み手数料については貴社にて負担ください)

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日・・・参加料の30% (万一キャンセルの場合は必ずファックスでご連絡ください)
 開催前日および当日・・・参加料全額

ご注意

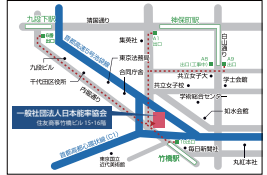
- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講師の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡します。参加者以外の方はテキストはおわけいたしません。
- ・同業他社からの参加はお断りする場合があります。
- ・参加者数が9名に満たない場合は、開催を延期もしくは中止することがあります。

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした会員制度を設け、セミナー参加割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
 資料請求先: 生産・購買セミナー担当 TEL: 03(3434)1410(直通)

会場案内 日本能率協会・研修室

〒100-0003
 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事ビル7F(15-16階)
アクセス
 東京メトロ東西線 「竹橋駅」b出口 徒歩1分
 都営東西線 「神保町駅」A9出口 徒歩5分
 三田線
 東京メトロ半蔵門線
※都営東西線、半蔵門線A13出口から三田線A3出口まで徒歩1分です。
 ※A13出口は現在、工事のためA12出口から徒歩2分です。
 都営新宿線 「九段下駅」6番出口 徒歩8分
 東京メトロ東西線
 半蔵門線



プログラム内容のお問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 経営人材センター
 TEL: 03(3434)1410(直通)

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研究会・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy/>)をご覧ください。
 なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本展覧物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連イベントのご案内にお送りさせていただきます。

参加申込書				2016年度 生産革新プロフェッショナルコース		開催地・開催日	
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	業種	東京		
会社名 (正式名称)	事業所名	TEL	業種	2016年10月11日(火)～ 12月13日(火)			
所在地	TEL	※市外局番からご記入ください。		<input type="checkbox"/> 日本能率協会法人会員 <input type="checkbox"/> 上記会員外			
フリガナ	FAX	※市外局番からご記入ください。		【連絡希望事項欄】			
申込 責任者	所属 役職名						
メールアドレス	JMA主催の関連催し物のEメール配信を希望	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない					
フリガナ	所属 役職名			No.			
参加者	JMA主催の関連催し物のEメール配信を希望	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		No.			
メールアドレス	所属 役職名			No.			
フリガナ	JMA主催の関連催し物のEメール配信を希望	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		No.			
参加者	所属 役職名			No.			
メールアドレス	JMA主催の関連催し物のEメール配信を希望	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		No.			
フリガナ	所属 役職名			No.			
参加者	JMA主催の関連催し物のEメール配信を希望	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		No.			
参加料	お振込予定日		参加証発行日 請求書発行日 領 収 日				
円 × 名 合計	円 (消費税別)						

※参加証・請求書はこの方へお送りいたします。それ以外をご希望の場合は、【連絡希望事項欄】へご記入ください。

参加申込先
JMAマネジメントスクール
一般社団法人 日本能率協会
 FAX: 03-3434-5505
 TEL: 03-3434-6271
 E-mail: seminar@jma.or.jp
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
 (受付時間: 月～金曜日 9:00～17:00) 丸の内線 都立大駅
 URL <http://school.jma.or.jp/>
(セミナーの最新案内など各種情報をご紹介)
※2016年4月29日より2017年12月(予定)まで
 ビジネスホテルの協賛のもと、下記に特設し
 ます。電話予約・お申し込みは下記まで、ご
 申込。
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2
 住友商事ビル7F(15-16階)